

2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

東・福

上場会社名 株式会社Lib Work 上場取引所
 コード番号 1431 URL <https://www.libwork.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀬口 力
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 櫻井 昭生 (TEL) 0968 (44) 3559
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 2021年3月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績(2020年7月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	4,545	—	251	—	296	—	163	—
2020年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 163百万円(—%) 2020年6月期第2四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	15.56	—
2020年6月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 2021年6月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年6月期の数値及び前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
 3. 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	4,668	1,910	40.9
2020年6月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 1,910百万円 2020年6月期 ー百万円

(注) 2021年6月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年6月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	9.00	9.00	4.50	4.50	—
2021年6月期	4.50	2.25	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	2.25	1.125	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

- (注) 1. 当社は2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしました。2020年6月期の1株当たり第3四半期末配当金及び1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計額は「—」と記載しております。株式分割を考慮しない場合の2020年6月期の第3四半期末配当金は9.00円、期末配当金は9.00円、年間配当金は36.00円となります。
 2. 当社は2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であるため、2021年6月期の1株当たり第2四半期末配当金及び第3四半期末配当金、1株当たり期末配当金については、これらの株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計額は「—」と記載しております。株式分割を考慮しない場合の2021年6月期の第2四半期末配当金は4.50円、第3四半期末配当金は4.50円、期末配当金は4.50円、年間配当金は18.00円となります。

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	—	390	—	400	—	246	—	11.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

（注）2021年6月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

（注）2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であります。通期1株当たり当期純利益予想は、これらの株式分割を考慮した額を記載しております。当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益予想は46.93円であります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 1社（社名） タクエーホーム株式会社、除外 1社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年6月期2Q	10,841,020株	2020年6月期	10,841,020株
2021年6月期2Q	357,760株	2020年6月期	357,740株
2021年6月期2Q	10,483,272株	2020年6月期2Q	10,646,616株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）当社は、2020年1月1日付及び2020年10月1日付で、それぞれ普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。2020年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 第1四半期連結会計期間において、当社は、タクエーホーム株式会社の株式を取得し同社を子会社化しました。これに伴い、2021年6月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2021年6月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は記載しておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、Go Toキャンペーンをはじめとする各種経済政策の効果や海外経済が改善してきていることから持ち直しの動きが見られましたが、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、企業収益の減少や雇用環境の悪化など依然厳しい状況が続いております。

住宅業界におきましては、新設住宅建設着工数は弱含みで推移しております。国土交通省公表の全国の新設住宅着工数(持家)によると、2020年10月度は前年同月比で6.1%減、同年11月度は前年同月比で1.5%増、同年12月度は前年同月比で2.4%増という推移となりました。同様に当社の主要販売エリアとなる九州地区においては、2020年10月度は前年同月比で9.3%減、同年11月度は前年同月比で5.4%減、同年12月度は前年同月比で増減なしとなりました。

このような環境のなか、新型コロナウイルス感染症対策として外出自粛とテレワークの急速な普及が戸建て住宅需要の高まりに繋がっていることから、当社グループは積極的な住宅用地仕入れに努めました。加えて、「中期経営計画NEXT STAGE 2023」の方針に則り、戸建ビジネスのプラットフォームを目指すべく、デジタルマーケティングを強化しました。コーポレートサイトをUI・UXに重きをおき全面リニューアルしたことに加え、自社YouTubeチャンネル登録数が10,000人を突破し、再生回数も急速に拡大できたことも奏功し、デジタル集客数は前年同四半期比149%で堅調に推移しました。またエリア拡大として移動式展示場を1拠点(熊本市東区)新設し、営業を開始したほか、お客様の様々なライフスタイルに対応すべく、株式会社サザビーリーグとコラボレーションした新商品「Afternoon Tea HOUSE」の開発に着手しました。これらにより、受注棟数は前年同四半期比227%となり、大幅に増加しました。さらに、仕入原価削減と施工管理体制の強化に努めたことで、売上総利益率の改善につながりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は4,545,130千円、営業利益251,852千円、経常利益296,292千円、親会社株主に帰属する四半期純利益163,142千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,668,090千円となりました。流動資産は3,811,578千円となり、主な内訳は、現金及び預金2,019,289千円、販売用不動産778,325千円、仕掛販売用不動産472,650千円、未成工事支出金299,349千円であります。また、固定資産は856,512千円となり、主な内訳は、有形固定資産496,639千円、のれん70,569千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,757,539千円となりました。流動負債は1,911,064千円となり、主な内訳は、工事未払金579,090千円、短期借入金500,000千円、未成工事受入金188,079千円であります。また、固定負債については846,475千円となりました。主な内訳は、社債300,000千円、長期借入金328,000千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,910,551千円となりました。主な内訳は、利益剰余金1,551,986千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して、1,216,066千円増加し、当第2四半期連結会計期間末には1,959,289千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は932,977千円となりました。これは主に当第2四半期連結累計期間において税金等調整前四半期純利益が296,016千円、たな卸資産の減少346,593千円、仕入債務の増加259,010千円等の収入があ

った一方で、未成工事受入金の減少129,574千円、未払金の減少52,855千円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は384,930千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出44,866千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出324,103千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は668,019千円となりました。これは主に短期借入れによる収入1,122,000千円、短期借入金の返済による支出880,790千円、長期借入れによる収入280,000千円、社債の発行による収入200,000千円、配当金の支払額47,671千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月11日の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,019,289
完成工事未収入金	28,110
売掛金	2,906
未成工事支出金	299,349
販売用不動産	778,325
仕掛販売用不動産	472,650
原材料及び貯蔵品	4,399
その他	206,545
流動資産合計	3,811,578
固定資産	
有形固定資産	496,639
無形固定資産	
のれん	70,569
その他	33,398
無形固定資産合計	103,967
投資その他の資産	255,905
固定資産合計	856,512
資産合計	4,668,090
負債の部	
流動負債	
工事未払金	579,090
短期借入金	500,000
1年内返済予定の長期借入金	27,000
未払法人税等	185,885
未成工事受入金	188,079
株主優待引当金	12,608
資産除去債務	1,500
その他	416,900
流動負債合計	1,911,064
固定負債	
社債	300,000
長期借入金	328,000
役員退職慰労引当金	91,840
完成工事補償引当金	48,275
株式給付引当金	16,989
退職給付に係る負債	2,683
資産除去債務	19,662
その他	39,024
固定負債合計	846,475
負債合計	2,757,539

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(2020年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	346,373
資本剰余金	229,123
利益剰余金	1,551,986
自己株式	△216,932
株主資本合計	1,910,551
純資産合計	1,910,551
負債純資産合計	4,668,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
売上高	4,545,130
売上原価	3,384,201
売上総利益	1,160,928
販売費及び一般管理費	909,076
営業利益	251,852
営業外収益	
受取利息	1,135
受取手数料	27,157
助成金収入	12,770
その他	8,905
営業外収益合計	49,968
営業外費用	
支払利息	5,121
その他	406
営業外費用合計	5,527
経常利益	296,292
特別利益	
固定資産売却益	41
特別利益合計	41
特別損失	
固定資産売却損	279
固定資産除却損	37
特別損失合計	317
税金等調整前四半期純利益	296,016
法人税、住民税及び事業税	173,604
法人税等調整額	△40,730
法人税等合計	132,873
四半期純利益	163,142
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,142

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	163,142
四半期包括利益	163,142
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	163,142

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	296,016
減価償却費	39,855
のれん償却額	3,714
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	4,243
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	7,335
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,788
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	3,172
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	197
固定資産売却損益 (△は益)	238
固定資産除却損	37
受取利息及び受取配当金	△1,261
支払利息	5,121
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,818
たな卸資産の増減額 (△は増加)	346,593
仕入債務の増減額 (△は減少)	259,010
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△129,574
未払金の増減額 (△は減少)	△52,855
未払消費税等の増減額 (△は減少)	48,270
その他	76,013
小計	888,097
利息及び配当金の受取額	1,242
利息の支払額	△5,844
法人税等の還付額	49,482
営業活動によるキャッシュ・フロー	932,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△44,866
有形固定資産の売却による収入	5,027
無形固定資産の取得による支出	△20,746
保険積立金の積立による支出	△210
投資有価証券の取得による支出	△30
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△324,103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△384,930
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,122,000
短期借入金の返済による支出	△880,790
長期借入れによる収入	280,000
長期借入金の返済による支出	△5,000
社債の発行による収入	200,000
自己株式の取得による支出	△39
配当金の支払額	△47,671
リース債務の返済による支出	△479
財務活動によるキャッシュ・フロー	668,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,216,066
現金及び現金同等物の期首残高	743,222
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,959,289

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。